

12月22日 全校集会あいさつ

みなさん、おはようございます。今朝も雪のため寒い朝になりました。  
みなさん風邪など引いていませんか？特に受験生の3年生は気をつけてください。  
さていよいよ明日から冬休みとなります。冬休みはクリスマスやお正月と君たちにとって大変楽しみの行事だと思います。  
この冬休みの生活の過ごし方は生徒指導の先生から話があると思います。

先生はみなさんに一つお話をしてみたいと思います。

それは「あきらめないこと。一度あきらめると習慣になる」ということです。

ソニーという会社のことは知っていますね。  
そのソニーは昭和35年(1960年)に超小型トランジスタラジオのヨーロッパ市場を目指していた頃の話です。このソニーは町工場のような小さな企業でした。しかもメイド・イン・ジャパンといえは「安い・悪いの代名詞」だったそうです。

そこで派遣された小松所長他3人は考え、賭をしたそうです。  
喫茶店に入って、「ご注文は？」と聞かれたら、どこへ行っても必ず「ソニーをください」言ったそうです。そのとき「ソニーはラジオでしょ」言われる日が来るか、来ないかの賭だったそうです。「ソニーはラジオでしょ」といわれるようになれば、ソニーは世界を制覇できると小松さんはそう賭けたそうです。しかし1年経ってもうまくいかない。そこで小松さんたちは学生アルバイトを使って連日ソニーのラジオを買いに行かせ大きな話題づくりに成功し、次に有り金全部はたいて新聞の全面広告に出たそうです。また高級デパートのウィンドウに一週間ソニーの製品を展示したそうです。これがあたりソニーは世界の人気ブランドになったそうです。  
そしてまたある喫茶店に行き「ソニーをください」というと「ソニーはラジオでしょ」と答えたそうです。大変喜んだそうです。

周りの人がこのような仕事は「本当に大変でしょう」と言われたとき、小松さんは「仕事はつらいと思ったら本当につらくなる。これをゲームだと思えばいい。何とかしてこのゲームに勝とうと思えばつらくなる」と言ったそうです。  
でも仕事はゲートをくぐれば楽しい世界が待っているテーマパークではありません。

みなさんもそうだと思います。将来、こんな仕事につきたい。こういう学校に行きたいと夢を持っているはず。その夢を実現するために毎日の生活があると思います。  
「あきらめてはいけません。一度あきらめるとそれが習慣になります。  
勉強や部活動でもそうです。一度さぼれば、次の日前の日のこともしなければなりません。さぼればさぼるほど、しなければならぬことが雪だるま式にたまります。  
この一年を振り返って自分の課題をもう一度書き出し、将来こんな人になりたい、こんな仕事に就きたいといった夢を持ってほしいと思います。  
それでは家族全員で、すてきなクリスマスと穏やかなお正月を迎えて、また来年この場所で会える日を楽しみにしています。